

感覚芸術美意識 しよのでんとう

問一 次の文字を、形よく書きなさい。（漢字は一行目に楷書で、二行目は行書で）



自分の目も生長し深化するが、時代的なのみも常にうつり変わっていく。人は今まで見なれた形にあきると新らしいものを求める。定石として動かないものもあるが、その価値の解釈はどんどん変っていく。

（西川寧「書と「うもの」」より）

問三 次の文章を、漢字は楷書で、調和よく書きなさい。出典も記入すること。

われわれは短い時間をもっているのではなく、実はその多くを浪費しているのである。人生は十分に長く、その全体が有効に費やされるならば、最も偉大なことでも完成できるほど豊富に与えられている。

（セネカ「人生の短さについて」より）

問四 次の九成宮醴泉銘を、解答欄の大きさにあわせて調和よく臨書しなさい。
※臨書：古典の字形や線などの特徴を捉えて書くこと

（蒸之氣微風）

問五 次の部首にはそれを使った漢字を書き、漢字には部首名を書きなさい。

オ→□

ネ→□

隹→□

𠂇→□

強→□

発→□

郡→□

扇→□